

平成28年12月15日

## プラットホームの安全対策を強化推進 大阪阿部野橋駅に可動式ホーム柵を設置します

近鉄では、プラットホームの安全性向上のため、プラットホーム内方線の設置などの対策に取り組んでおりますが、このほどさらなる安全対策として、大阪阿部野橋駅の一部ホームにおいて、関係機関の協力を得ながら、平成30年度中を目途に可動式ホーム柵を設置します。これに先立ち、平成29年度中に同駅ホームの一部において、可動式ホーム柵を試験設置し実用上の課題を検証します。

今後も、各駅の状態を勘案しながら、技術的に設置可能な駅から順次整備することを目指して検討してまいります。

また、プラットホームの安全対策を推進するため、プラットホーム内方線の整備をこれまで以上に加速します。

### 1. 大阪阿部野橋駅に設置する可動式ホーム柵の概要

#### (1) 設置箇所

大阪阿部野橋駅の一部ホーム

#### (2) 可動式ホーム柵の内容

昇降式ホーム柵

水平に複数配置したワイヤーロープを上下させる方式とすることで広い乗車口を確保したホーム柵で、扉配置や扉の数の違いに対応しやすくしたものです



可動式ホーム柵（イメージ）

#### (3) 設置スケジュール

平成29年度中 試験設置のうえ、検証

平成30年度中 本設置

## 2. プラットホーム内方線の整備状況

乗降人数	対象駅	未整備駅	整備状況
10万人以上	4駅	なし	整備完了済み
1万人以上10万人未満	70駅	30駅	平成29年度末までに整備完了
3千人以上 1万人未満	84駅	50駅	平成32年度末までに整備予定
3千人未満	128駅	126駅	各駅の状況に応じ今後も整備を検討

※対象駅の総数は、鋼索線6駅を含む286駅。

以上